



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第10号 (H23.7.8)

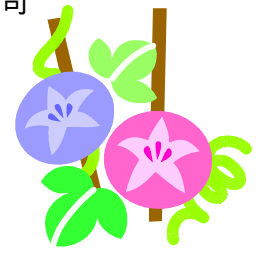
宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 前田 哲司

# 質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



## 第1回学校参観日 保護者会が行われました！

7月6日(水)に附属中学校において第1回学校参観日・保護者会が行われました。第1学年38名、第2学年35名、参観率91%と高い参観率でした。やはり附属中への思いの高さに、教職員一同、身が引き締まる思いです。多くの参観有り難うございます。1年生は理科、2年生は社会の授業でした。参観授業後、保護者会、学級懇談会が実施されました。本年度は、1・2年生の交流の場を増やしたいと、保護者会主催の「サマーセミナー合宿」の提案がありました。多くの参加を期待したいところです。また、学級懇談会では、いろんなご意見が出されました。まだまだ、様々な課題があります。保護者の皆様、ご支援よろしくお願いたします。



こんなに大きくなりました！

### 平成23年度 夏季休業中 行事予定

月日	曜	行 事	月日	曜	行 事
7/19	火	第1学期終業式 表彰式	8/17	水	サマーセミナー
20	水	サマーセミナー	18	木	サマーセミナー 職員会議
21	木	サマーセミナー サマーセミナー合宿	19	金	サマーセミナー 校外模試
22	金	サマーセミナー	20	土	
23	土		21	日	
24	日	県中体連夏季大会	22	月	夏季休業終了
25	月	県中体連夏季大会 サマーセミナー	23	火	振替休日(8/27)
26	火	県中体連夏季大会 サマーセミナー	24	水	2学期始業式 表彰式
27	水		25	木	
28	木	サマーセミナー 県中体連(テニス)家庭訪問	26	金	
29	金	サマーセミナー 県中体連(テニス)家庭訪問	27	土	午前中授業 練習
30	土		28	日	
31	日		29	月	合唱予選
8/1	月	家庭訪問	30	火	全体練習
2	火	家庭訪問 車イス野球(2年)	31	水	予行
3	水	家庭訪問	9/1	木	MJリハーサル
4	木	家庭訪問 WRO宮崎予選(サイエンス部)	2	金	都泉祭・文化の部第1日目
5	金	家庭訪問	3	土	都泉祭・文化の部第2日目
6	土		4	日	都泉祭・体育の部
7	日		5	月	振替休日(9/3)
8	月	家庭訪問	6	火	振替休日(9/4)

## 11年度の選抜でも公立中高一貫校の人気は高い！

11年度選抜を行った公立中高一貫校は97校。そのうち、志願倍率が5倍を超えた学校は下記の図のとおり30校で、全体の3割以上になります。志願倍率5倍といえば、10人のうち2人しか合格でないのですから、相当厳しい選抜です。5倍はいかなくても、3～4倍台の学校もけっこうありますから、やはり公立中高一貫校の人気はかなり高いといっていいいでしょう。特に、首都圏の各学校は厳しい競争になっていますし、東から西まで全国で高倍率の学校が続出しています。本校も、10年度は5.78倍、11年度は5.25倍と高倍率でした。やはり、生徒の皆さん全国が勝負ですね。(学研教育出版 公立中高一貫校に入る！より)

### 学力向上 ちょっと一言！

### 「練習問題のやり方」

勉強のやり方がわからないから「とりあえず問題集をやっておこう！」みたいな勉強の仕方をしている人はいませんか？問題をたくさん解いておけば何とかなるだろうと思っていたら大間違い。何もやらないよりはマシといった程度にしかありません。どんなに素晴らしい道具も使い方を誤れば役に立ちません。練習問題の目的とやり方を実力アップにつなげましょう。

#### 練習問題を解くのは

- 一、自分の理解度を高める
- 二、応用力をつける
- 三、問題に慣れる  
定着させる

この3つが大きな目的です。

## 「言葉使いは心遣い」

みんなで、考えましょう！

「言葉使いは心遣い」とある人がいました。  
ことばには、香りがあり、味があり、重みがある。  
ことばには、陰があり、とげがある。  
ことばは時として人を喜ばせ、怒らせ、悲しませる。  
結局、ことばは生き物である。人の気持ちを変えてしまうほど力がある。  
やっぱり、「ことば使いは心遣い」

やさしい心から、やさしいことばが生まれる。  
美しいことばが、美しい心を育てる。  
正しい挨拶ができる生徒は、いつのまにか人を敬う心が育つ。  
こうして豊かな心の持ち主になっていく。

ある中学校の生徒の作文からです



「クラスに時々いじめ的なことが頭を出す。私たちは、いけないとわかっていながら同じ 過ちを繰り返す。自分を守るために他人を傷つける。自分さえよければ他人はどうでもいい……。本当にどうでもいいのだろうか。そんな自己中心的な考えがいじめを生み出す、また、新たな犠牲者を増やしていくというのに。言葉は、ある時は「光」であり素晴らしい。しかし、ある時は「ナイフ」にもなり、相手をグサリと傷つけてしまう。一人一人が相手を尊重し、どんな物事にも真剣に取り組んでいけば、いじめというくだらないものは本当に少なくなると思う。そしていじめに立ち向かっていける。勇気のある自分に私はなりたい。」

また、ある人は、作文で、

ひとりぼっちになってしまった人に対して、「私の声があなたに届くまで、あなたの声が私に届くまで、仲間を増やして支え合い、励まし合っていきたい」と書いています。